

2015年10月24日(土)～11月29日(日)

情報コーナー

企画展「北の国のアンモナイト」

10月24日(土)

～11月29日(日)

アンモナイトは、今から約7500万年前ころの海にいた生物で、イカやタコの仲間なのに巻貝のような殻を持ち泳ぎながら生活していました。

今回は北海道の中央の山地から採集されたアンモナイト類化石に焦点を当てて、計30点を展示します。最大のもものは直径50cmあります。ぜひ触って、見てください。アンモナイトの口の部分や共産した化石も展示します。

協力：末包鉄郎氏・丹沢化石研究会



情報コーナー企画展 「北の国のアンモナイト」と 体験学習 「アンモナイトレプリカ作り」

アンモナイトは、今から7500万年前の海にいたイカやタコの仲間で、殻をもち、泳ぎながら生活していました。2階情報コーナーでは、丹沢化石研究会と平塚市博物館の共催による展示「北の国のアンモナイト」展を開催中です。北海道産各種アンモナイト、アンモナイト生態模型、触れる巨大アンモナイトとイノセラムス（二枚貝の仲間）など、丹沢化石研究会所有の標本と当館所蔵のものとを合わせて計60点以上を展示しています。

この展示に合わせて、北海道産アンモナイトのレプリカ作り体験イベントを行います。アンモナイトの型に石膏を流しこんで形を作りましょう。実物を見たり、アンモナイトについての話を聞いた後、固まった石膏アンモナイトを取り出して絵の具で色を付けてできあがりです。本物に見えるかな？

日 時：11月15日（日）

第1回 13～15時

第2回 15～17時

参 加：参加自由 先着順

第1回 12時30分受付開始

第2回 14時30分受付開始

対 象：小学3年生以上

定 員：各回20名ずつ（計40名）

材料費：200円

場 所：博物館科学教室



↑展示の様子。奥に展示されたアンモナイトとイノセラムスは
いずれもおよそ50cmの大きさ！直接触ることもできます。